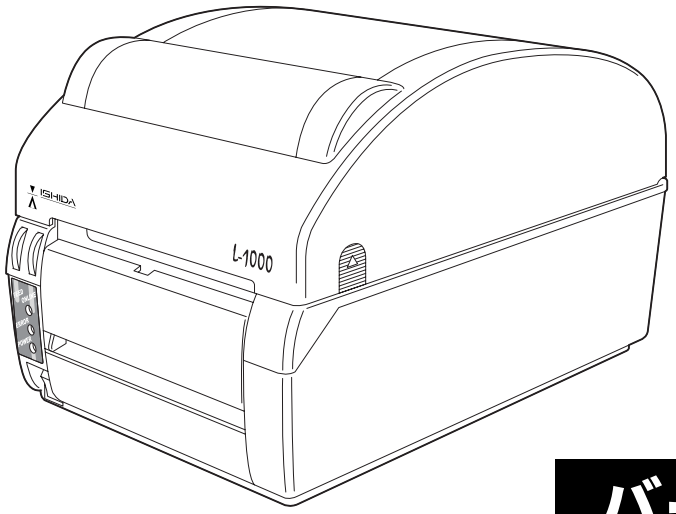
ISHIDA

パーソナルラベルプリンタ

L-1000



バーコード OLE サーバ
取扱説明書

株式会社イシダ

本取扱説明書の内容は、予告なく変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

目次

はじめに 2

おねがい 2

1 バーコード OLE サーバのインストール 3

2 バーコード OLE サーバの操作 5

2.2.1 詳細（QR） 8
2.2.2 詳細（NW-7・Code39・ITF） 8
2.2.3 詳細（JAN-13・JAN-8・UPC-A・UPC-E） 9
2.2.4 詳細（Code93・Code128・EAN128） 9
2.2.5 詳細（PDF417） 10
2.2.6 詳細（MAXI Code） 10
2.2.7 詳細（Data Matrix） 11

はじめに

このたびは「バーコードOLEサーバ」をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
「バーコードOLEサーバ」とは、OLEコンテナ機能を備えているアプリケーションにバーコード作成機能を提供するOLEサーバです。OLEコンテナ機能を備えているワープロソフトやグラフィックソフトの編集画面上には、バーコードイメージがドット換算表示されますので、多彩なデザインのラベルをイメージどおりに作成することができます。

おねがい

- 本書の内容を無断で転載することを固くお断りします。
- 製品の改良などにより、本書の内容に一部、製品と合致しない箇所の生じる場合があります。ご了承ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 万全を期して本書を作成していますが、内容に関して、万一間違いやお気づきの点がございましたら、ご連絡いただきますようお願い申しあげます。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えします。最寄りの弊社販売店までご連絡ください。
- 機器、システムの本体トラブルについては、個々のメンテナンス契約に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業ストップなどの副次的トラブルについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

・Microsoft®およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。

・Acrobat Reader、AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

・『QRコード』『マイクロQR』は株式会社デンソーの登録商標です。『PDF417』はシンボルテクノロジー社の登録商標です。

・『Maxiコード』はUSP社の登録商標です。『データマトリックス』はデータマトリックス社の登録商標です。

©2003 株式会社イシダ

1　バーコードOLEサーバのインストール

ここではバーコードOLEサーバのインストール手順について説明します。

参考
Windows2000/XPを使用しているときはAdministrators権限でログインしてください。

1　コンピュータを起動し、「L-1000設定ツール」を起動します。

コンピュータを起動し、CD-ROMドライブに付属のCD-ROM「L-1000設定ツール」をセットします。
しばらくすると「L-1000設定ツール」が起動し、メニュー画面が表示されます。
「L-1000設定ツール」が起動しない場合はマイコンピュータを開いて、CD-ROMをセットしたCD-ROMドライブをダブルクリックしてください。

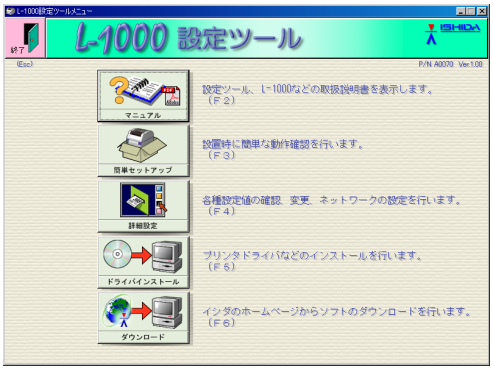
http://www.ishida.co.jpからバーコードOLEサーバーをダウンロードし、インストールすることもできます。
ダウンロード後はダウンロードしたファイルを実行してインストールしてください。
インストール方法は手順4～7を参照してください。

参考
ダウンロードする場所に「デスクトップ」や「マイドキュメント」は指定しないでください。

2　「ドライバインストール」ボタンをクリックします。

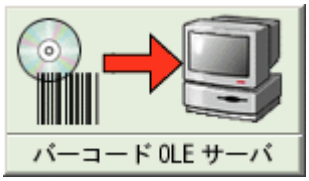


インストール画面が表示されます。

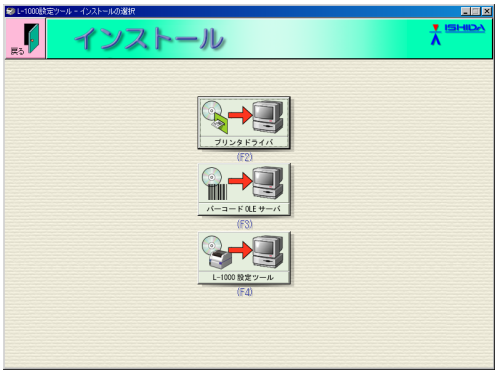


参考
キーボードより、「F5」キーを押しても、同様の操作となります。

3　「バーコードOLEサーバ」ボタンをクリックします。



バーコードOLEサーバのインストール画面が表示されます。



参考
「戻る」ボタンをクリックすると、メニュー画面に戻ります。



4 「次へ(N)＞」ボタンをクリックします。



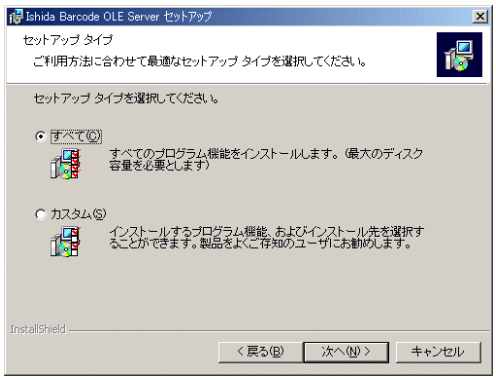
セットアップタイプを選択する画面に切り換わります。



5 「すべて(C)」にチェックを付け、「次へ(N)＞」ボタンをクリックします。



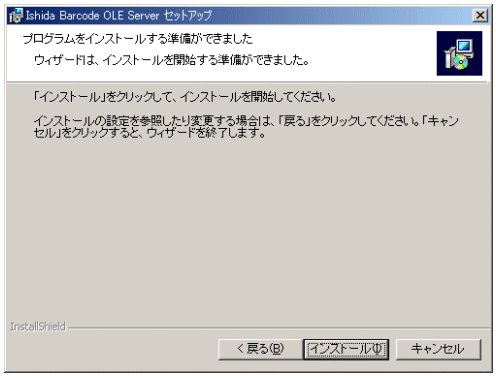
インストール開始画面に切り換わります。



6 「インストール(I)」ボタンをクリックします。



インストールが開始されます。



7 「完了(F)」ボタンをクリックします。

インストールが終了すると、インストールの完了を知らせる画面が表示されます。
「完了(F)」ボタンをクリックして、インストール作業を終了します。





2　バーコードOLEサーバの操作

バーコードOLEサーバは、OLEコンテナから直接バーコードOLEサーバの機能を利用します。ここではMicrosoft Wordを例に説明します。

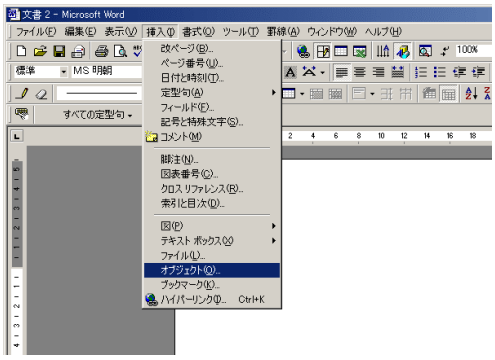
2.1　バーコードの挿入

ここでは、バーコードの挿入方法について説明しています。

1　Microsoft Wordを起動します。

2　「挿入(I)」→「オブジェクト(O)...」を選択します。

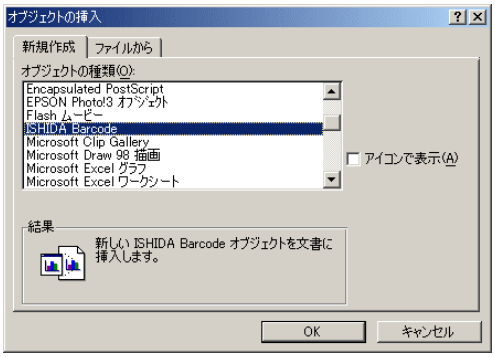
オブジェクトの挿入画面が表示されます。



3　「オブジェクトの種類(O):」の表から“ISHIDA Barcode”を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

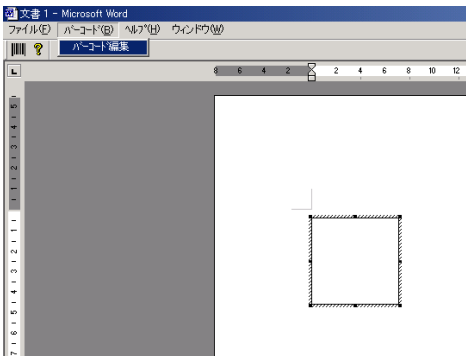


バーコード編集画面が表示されます。



4　「ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ(B)」の「ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ編集」を選択します。

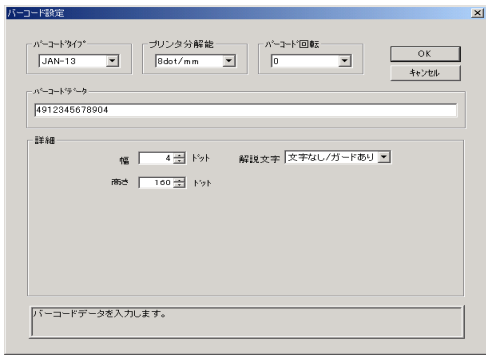
バーコード設定画面が表示されます。



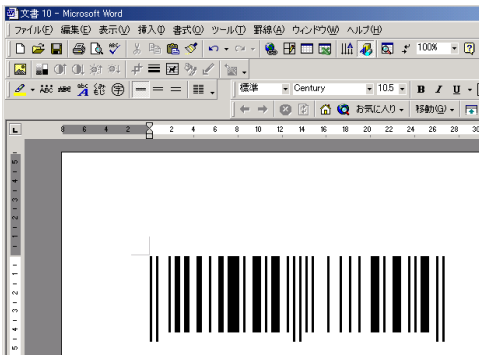
参照
バーコードの設定については、7ページ「2.2 バーコード設定画面」を参照してください。

5 バーコードの設定をして「OK」ボタンをクリックします。



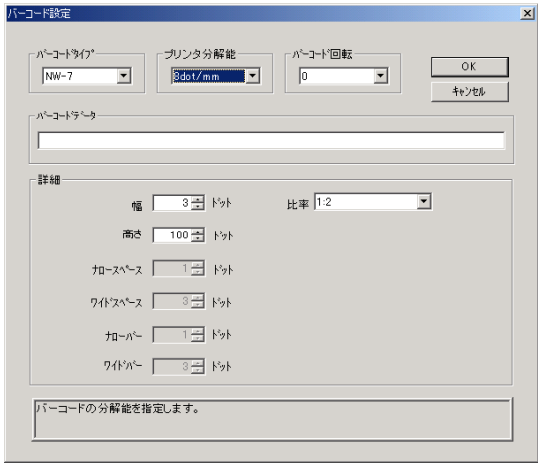


6 文章中のバーコード以外の場所をクリックすると、バーコード編集画面を閉じます。



2.2　バーコード設定画面

ここではバーコード設定画面について説明しています。
バーコード編集画面の「ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ(B)」を選択するとバーコード設定画面が表示されます。



項目について説明します。

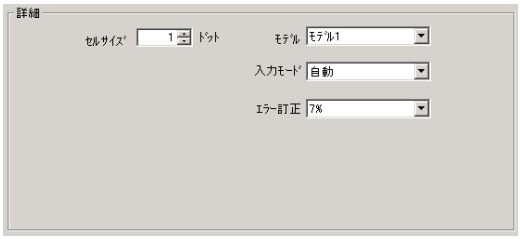
項目名	項目の内容
バーコードタイプ	バーコードの種類（QR／NW-7／Code39／ITF／JAN-13／JAN-8／Code93／Code128／EAN-128／PDF417／MAXI Code／Data Matrix／UPC-A／UPC-E）を選択します。選択されたバーコードによって「詳細」の中に表示される項目が変わります。
プリンタ分解能	バーコードの分解能（8dot/mm／12dot/mm／16dot/mm／24dot/mm）を選択します。
バーコード回転	バーコードの回転させる角度（0／90／180／270）を選択します。
バーコードデータ	バーコードデータを入力します。
詳細	バーコードの大きさ等を調整できます。バーコードタイプにより表示される項目が変わります。

バーコードタイプで設定するバーコードはLシリーズバーコードプリンタの「リファレンスマニュアル」に記載されたバーコードに対応していますので、EAN－128はAIコード00以外をサポートしないなどの制限があります。

バーコードデータの入力方法については、Lシリーズバーコードプリンタの「リファレンスマニュアル」を参照してください。

2.2.1 詳細（QR）

ここでは、バーコードタイプでQRを選択したときの「詳細」について説明します。

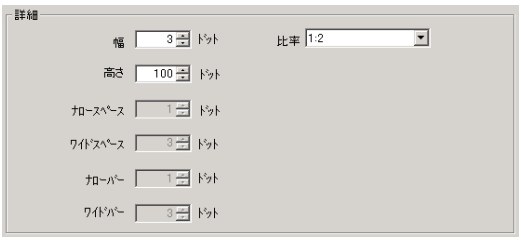


項目について説明します。

項目名	項目の内容
セルサイズ	バーコードのセルサイズ(1～32)を入力します。
エラー訂正	エラー訂正(7%，15%，25%，30%)を入力します。
モデル	バーコードのモデル(モデル1／モデル2／マイクロQR)を選択します。
入力モード	バーコードデータに入力する文字の種類(自動／数字／英数字／漢字)を選択します。 バイナリデータは入力できません。

2.2.2 詳細（NW-7・Code39・ITF）

ここでは、バーコードタイプでNW-7・Code39・ITFを選択したときの「詳細」について説明します。



項目について説明します。

項目名	項目の内容
幅	バーコードの幅(1～12)を入力します。
高さ	バーコードの高さ(1～400)を入力します。
比率	バーコード内のバーとスペースの比率(1:2／1:3／2:5／指定)を選択します。“指定”を選択した場合はバーの太さ・スペースの間隔を個別に設定できます。
ナロースペース	「比率」で“指定”を選択した場合のみ設定できます。 バーコードの細スペースの間隔(1～99)を入力します。
ワイドスペース	「比率」で“指定”を選択した場合のみ設定できます。 バーコードの太スペースの間隔(1～99)を入力します。
ナローバー	「比率」で“指定”を選択した場合のみ設定できます。 バーコードの細バーの太さ(1～99)を入力します。
ワイドバー	「比率」で“指定”を選択した場合のみ設定できます。 バーコードの太バーの太さ(1～99)を入力します。

2.2.3　詳細（JAN-13・JAN-8・UPC-A・UPC-E）

ここでは、バーコードタイプでJAN-13・JAN-8を選択したときの「詳細」について説明します。

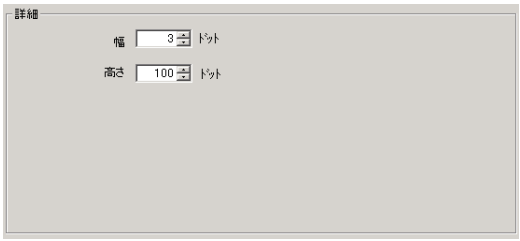


項目について説明します。

項目名	項目の内容
幅	バーコードの幅（1～12）を入力します。
高さ	バーコードの高さ（1～400）を入力します。
解説文字	バーコードデータの表示設定（文字あり/ガードあり／文字なし/ガードあり／文字なし/ガードなし）を選択します。

2.2.4　詳細（Code93・Code128・EAN128）

ここでは、バーコードタイプでCode93・Code128・EAN128を選択したときの「詳細」について説明します。



項目について説明します。

項目名	項目の内容
幅	バーコードの幅（1～12）を入力します。
高さ	バーコードの高さ（1～400）を入力します。

2.2.5 詳細（PDF417）

ここでは、バーコードタイプでPDF417を選択したときの「詳細」について説明します。

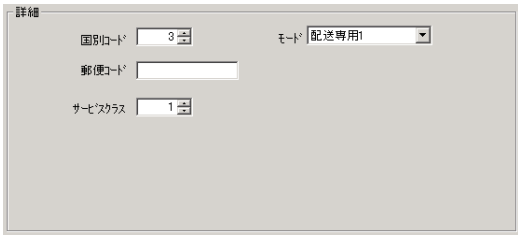


項目について説明します。

項目名	項目の内容
横	最小モジュール幅（1～9）を入力します。
縦	最小モジュール縦（1～24）を入力します。
行数	バーコードの行数（0～30）を入力します。
ワード数	バーコードのワード数（0～90）を入力します。
セキュリティレベル	バーコードのセキュリティレベル（0～8）を入力します。
モード	バーコードのモード（通常／切り詰め）を選択します。

2.2.6 詳細（MAXI Code）

ここでは、バーコードタイプでMAXI Codeを選択したときの「詳細」について説明します。



項目について説明します。

項目名	項目の内容
国別コード	バーコードの国別コード（1～99）を入力します。
郵便コード	バーコードの郵便コード（1～99）を入力します。
サービスクラス	バーコードのサービスクラス（1～99）を入力します。
モード	バーコードのモード（配送専用1／配送専用2／標準記号／フルEEC）を入力します。 配送専用1は、郵便コードを9桁以内で指定します。 配送専用2は、郵便コードを6桁固定で指定します。

2.2.7　詳細（Data Matrix）

ここでは、バーコードタイプでData Matrixを選択したときの「詳細」について説明します。



項目について説明します。

項目名	項目の内容
セルサイズ	バーコードのセルサイズ(1～99)を入力します。
セル数	バーコードのセル数(10／12／14／16／18／20／22／24／26／32／36／40／44／48／52／64／72／80／88／96／104／120／132／144)を選択します。

ISHIDA

株式会社イシダ

本　　社　　京都市左京区聖護院山王町 44 番地　　〒606-8392　　TEL.(075)771-4141(代)
東京支店　　東京都板橋区板橋 1 丁目 52 番 1 号　　〒173-0004　　TEL.(03)3962-6201(直)

取扱店

P/N A0078A 第 2 版